SONY

nav-u

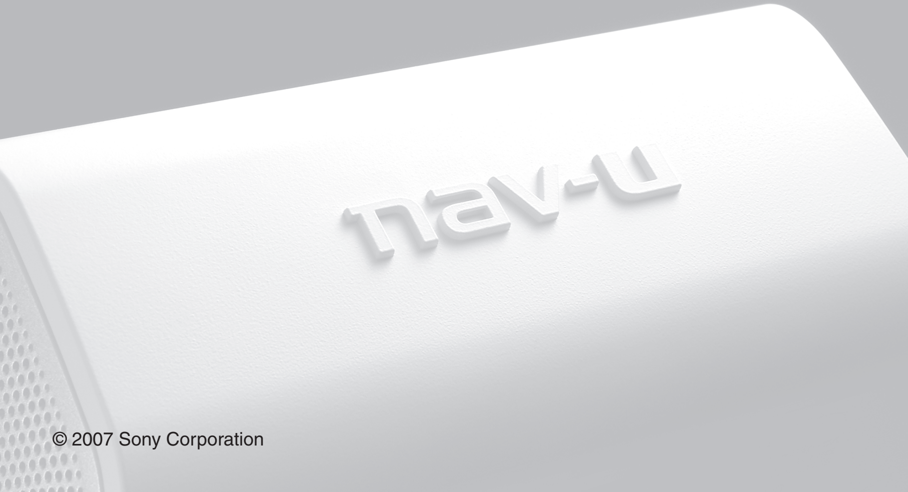
取扱説明書 基本編

NV-U1

パーソナルナビゲーションシステム

MEMORY STICK

3-213-243-02(1)



© 2007 Sony Corporation

目次

はじめに	**nav-u を快適に使うために**	**4**
	はじめにお読みください	4
	ナビゲーションを使う	4
	パソコンを使ってさらに便利に	5
	付属ディスクについて	6
	取扱説明書について	6
	各部のなまえとはたらき	**7**
準備	**電源を入れる / 切る**	**9**
	操作のしかた	**10**
	タッチパネルの使いかた	10
	メニュー操作	10
	文字入力のしかた	12
ナビゲーション	**地図の見かたと操作**	**14**
	地図を動かす―スクロール	16
	地図の縮尺を変える	17
	地図の向きを変えて表示する	19
	地図の表示方法を切り替える	20
	自車位置を表示する	**22**
	自宅を登録する	**25**

行き先を決めて出発する 27
ルートガイド中の運転サポート機能 29
ルートが見つからないときは 32
自宅に帰る 34

その他

困ったときは 35
主な仕様 38
使用上のご注意とお手入れ 40
廃棄時のお願い 44
保証書とアフターサービス 46
保証書 46
アフターサービス 46

付録

地図画面各部のなまえ 47
ジェスチャー操作一覧 裏表紙

nav-u を快適に使うために

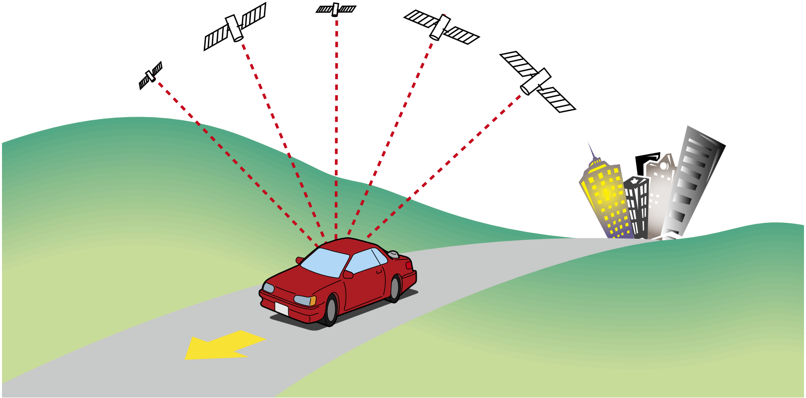
はじめにお読みください

● 本機をお使いになる前に、以下のご注意を必ずお読みください。
- 「取扱説明書 安全のために」（別紙）
- 「取扱説明書 本編」（別冊）の「重要なご注意」
- 「取付接続編」（別冊）

● 「取付接続編」をご覧になり、付属品がお手元にあることを確認してください。

ナビゲーションを使う

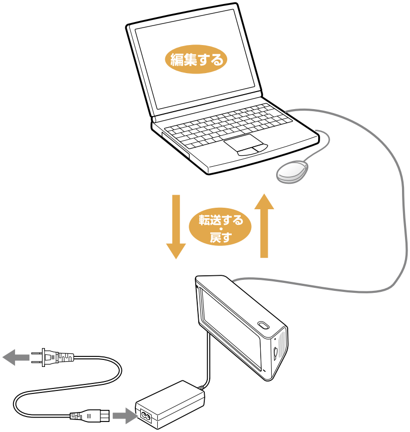
初めて使うときは、自車位置を正しく表示（測位）するための準備（22ページ）が必要です。



パソコンを使ってさらに便利に

付属のCD-ROMの専用ソフトウェアを使うと、nav-u本体の地図を入れ換えたり、マーク情報を保存したりできます。また、"メモリースティックPROデュオ"（別売り）に検索データを追加して使用することもできます。

- 操作方法については、付属のCD-ROMに収録された「取扱説明書 PCアプリ編」（PDF）をご覧ください。
- パソコンとの接続やインストール方法については、「取扱説明書 本編」（別冊）をご覧ください。



「取扱説明書 PCアプリ編」（PDF）を読むには

「取扱説明書 PCアプリ編」は、PCアプリをインストールすると、「スタート」→「すべてのプログラム」→「Sony nav-u」→「nav-uツール」→「取扱説明書」から閲覧できます。

また、CD-ROMをWindows Explorerで開き、manualフォルダの中のnav-uTool.pdfを選んでも閲覧することができます。

PDFを読むには、Adobe Readerが必要です。お使いのパソコンにAdobe Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社ホームページより最新のAdobeReaderを入手していただくか、CD-ROMをWindows Explorerで開き、AdobeフォルダのReaderフォルダの中のAdbeRdr.exeを実行してインストールしてください。

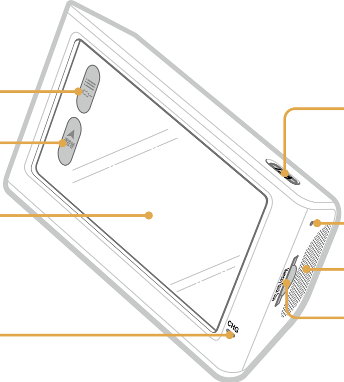
付属ディスクについて

- **「PCアプリケーション CD-ROM」**
  パソコンを使って地図を書き換えたり"メモリースティックPROデュオ"に検索データを転送するためのアプリケーションソフト（nav-u ツール）と、「取扱説明書 PCアプリ編」（PDF）が収録されています。
- **「地図・検索データ DVD-ROM」**
  本体に転送する全国版の地図データと地方版の地図データ、"メモリースティックPROデュオ"に転送する検索データが収録されています。

取扱説明書について

- **「取扱説明書 安全のために」** 安全のために必ずお読みください。
- **「取付接続編」**
  付属品の一覧や、車への取り付け・接続について説明しています。
- **「取扱説明書 基本編」（本書）**
  初めて使うときに必要な設定、各部のなまえとはたらき、機能の切り替えかたなど、基本的な操作方法を説明しています。
- **「取扱説明書 本編」**
  nav-uに搭載されているアプリケーションソフトの機能をメニューごとに説明しています。目的の機能がどのメニューに入っているか確認したいときや、「困ったな」と思われるときに参照してください。

各部のなまえとはたらき



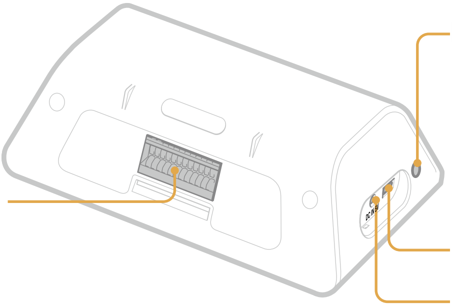
1 メニューボタン
メニュー画面を表示します。

2 現在地ボタン
現在地の地図を表示します。
ルートガイド中に現在地を表示しているとき、タッチすると、再度音声案内します。

3 充電ランプ
充電中に点灯し、充電が完了すると消えます。

4 I/⏻（パワーオン/スタンバイ）ボタン
本機の電源を入/切します。（パワーオン/スタンバイ状態）

5 リセットボタン
つまようじの先などで本機をリセットします。



6 オートディマーセンサー

周囲の明るさを検知し、自動的に画面の明るさを調整します。

7 USB端子

付属のUSBケーブルを使って、パソコンと接続します。

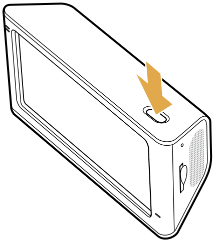
8 DC IN 5-5.2V端子

付属のACアダプターを接続します。

電源を入れる/切る

お買い上げ時には本体の内蔵バッテリーは充電されていない場合があります。
その場合は、ACアダプターかシガー電源コードを接続して使用してください。

1 I/⏻(パワーオン/スタンバイ)ボタンを押す



最初に電源を入れたときやリセットしたとき、地図を入れ換えたときに、品川付近が表示されますが、GPSを受信すると現在地表示に変わります。また、地図画面上の現在時刻はGPSを受信すると正しく表示されます。
GPSの受信について詳しくは、本書の「ナビゲーション」→「自車位置を表示する」をご覧ください。

電源を切るには

I/⏻(パワーオン/スタンバイ)ボタンを押します。

本機を充電するには、ACアダプターかシガー電源コードを接続してください。
本機は充電中もご使用になれます。
充電時間などについては、39ページをご参照ください。

ご注意

- 次のような場合には、自車位置を表示するために時間がかかることがあります。
  - はじめてお使いになる場合
  - リセットボタンを押した場合
  - 充電池が空になった場合
- **本機を使用しないときは、本体をクレードルから取り外し、シガー電源コードを抜いてください。エンジンを切ってもシガーソケットの電源が切れない車でシガー電源コードを差したままにすると、微小電力を消費し、車のバッテリー上がりの原因になります。**

操作のしかた

タッチパネルの使いかた

本機の操作は、タッチパネルで行います。
タッチパネルを指先でタッチしてください。

ご注意

タッチパネルは指で強く押したり、ペンやつまようじなどの先の鋭い物で触れないでください。
タッチパネルの故障の原因となることがあります。

メニュー操作

設定したいメニュー項目を表示するには、次のように操作します。

1 **「メニュー」ボタンをタッチする**

トップメニュー画面が表示されます。

2 **使いたい項目をタッチする**

1ステップ前に戻るには
「戻る」をタッチします。

「メニュー」ボタンや「現在地」ボタンでも地図画面に戻ることができます。
「メニュー」ボタンをタッチすると、最後に表示していた地図画面に戻ります。
「現在地」ボタンをタッチすると、現在地の地図画面になります。

ご注意

メニューの階層や設定方法は、選択した項目によって異なります。

ツールバーを使う

地図下段のツールバーにはよく使う機能をまとめました。
ここに表示されるボタンをタッチするとその機能が簡単に操作できます。

ツールバー
表示される項目については
「取扱説明書 本編」（別冊）をご覧ください。

ご注意

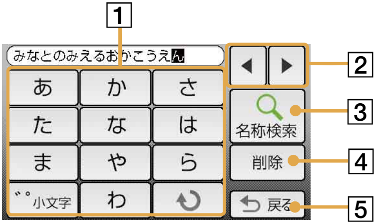
- 安全のため走行中は以下の操作ができません。
  - メニュー
  - ツールバー →「地点」
    - 最寄検索
    - マーク登録の「名称」、「よみ」、「グループ」、「マークアイコン」、「サウンド設定」
    - マーク編集
  - ツールバー →「ガイド」
    - ルート確認
- 操作は安全な場所に停車して行ってください。

文字入力のしかた

文字や数字は、施設の名称や電話番号などを入力するときに使います。
機能によって、文字入力画面は異なります。
ここでは代表的な文字入力画面を例に、文字入力のしかたを説明します。

名称検索画面

行き先の名称を入力するときに使用します。
メニューボタン→「行き先」→「名称」とタッチすると表示されます。



1 かな入力キーボード
タッチして入力します。続けてタッチすると、各行の文字が順次送られ、入力されます。（例：「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」）

ちょっと一言
「ー」は、「わ」を繰り返しタッチすると入力できます。

2 ◀ / ▶
カーソル位置を変更します。

3 名称検索
文字入力後、検索を実行します。

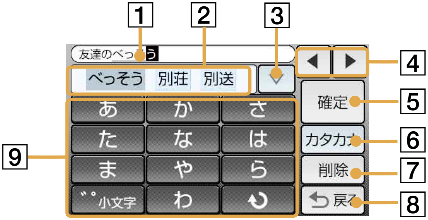
4 削除
入力中の文字を1文字ずつ削除します。

5 戻る
文字入力を中止して、元の画面に戻ります。

名称設定画面

マークの名称を編集するときに使用します。

メニューボタン→「編集・設定」→「マーク編集」→「マーク編集」→（編集するマークグループを選択）→（編集するマークを選択）→「名称」とタッチすると表示されます。



1 文字入力領域

入力した文字を表示します。

2 変換候補表示領域

文字の候補を表示します。

タッチすると、その候補を採用します。

3 ▽変換候補表示

更に多くの変換候補が表示されます。

4 ◀/▶

カーソル位置を変更します。

文字入力領域のカーソルを移動します。

5 確定

文字を確定します。

6 「ひらがな」「カタカナ」「ABC」「123」

入力する文字の種類を切り替えます。

7 削除

文字を削除します。

8 戻る

文字入力を中止して、元の画面に戻ります。

9 かな入力キーボード

タッチして入力します。

続けてタッチすると、各行の文字が順次送られ、入力されます。

（例：「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」）

ちょっと一言

「・」「、」「－」「！」などの記号は、「わ」を繰り返しタッチすると入力できます。

地図の見かたと操作

地図画面を表示するには、「現在地」ボタンをタッチします。

1 方位/現在時刻
地図の表示方向/現在時刻を表示します。

2 経由地、目的地方向
ルートガイド時に次の経由地または目的地の方向を示します。

3 目的地への到着予想時刻
ルートガイド時に、目的地までの到着予想時刻を表示します。

4 目的地までの距離
ルートガイド時に、目的地までの距離を表示します。

5 ガイド情報と距離
次のガイド地点での曲がる方向と地点までの距離を表示します。

6 自車位置
GPSの受信状況により色が変わります。

赤：GPSを受信し、測位している場合

オレンジ：GPSは受信していないが、自車位置を推測して表示している場合（高架下やトンネル内など）

グレー：GPSを受信できておらず、正しい自車位置が表示できていない場合

7 ツールバー
表示されているボタンをタッチすると、その機能が使えます。

8 縮尺（17、19ページ）

9 表示切替*

10 地点*

11 ガイド*

* ボタンをタッチしたとき表示される項目については、「取扱説明書 本編」（別冊）をご覧ください。

12 音量
タッチすると、 / で音量を調整できます。

消音ボタンをタッチすると、全ての音声が出なくなり、ツールバーに が表示されます。消音を解除するには を再度タッチします。

13 VICS情報
VICSビーコンユニットNVA-VB6（別売り）を接続し、VICS情報を受信したとき表示されます。ルート上に渋滞があるときは赤く表示されます。

14 車線案内
次の交差点の車線情報を表示します。
ルートガイド時には、走行レーンを黄色で表示します。

地図を動かす―スクロール

地図をタッチすると、タッチした位置が地図画面の中心になり、スクロールモードになります。

十字カーソルが表示されます。

十字カーソルが表示された状態で、地図画面をタッチしたまま、動かしたい方向へ指をずらすと、指の動きに合わせて地図が動きます。

➡ ：指の動き

⇨ ：画面の動き

地図画面の中心をしばらくタッチ（①）し続けたあと、見たい方向へ指をずらして（②）タッチし続けると、地図がその方向に動き続けます。

指をずらす長さによって、スクロール速度は3段階に変化します。最速の状態では、ズームアウトしながらスクロールします。ズームアウトしないようにするには、「メニュー」ボタン→「編集・設定」→「設定」→「地図表示」→「ズームスクロール」の設定を「OFF」にします。

3Dマップでスクロールを行おうとすると、2Dマップに切り替わります。

地図の縮尺を変える

地図の縮尺は「縮尺」をタッチすることで変更できます。

1 **ツールバーの「縮尺」をタッチします。**

縮尺

2 **「広域」または「詳細」をタッチします。**

広域

詳細

タッチし続けると、縮尺を連続して変更できます。
縮尺の範囲は25m ～ 800kmです。

次ページへつづく→

広域画面

詳細画面

ジェスチャー操作もできます（裏表紙）。

現在地を表示しているときに地図画面をタッチしたまま円を描くと設定されている縮尺に変更できます。右回り/左回りで異なる縮尺に設定できます。
縮尺の設定は、「メニュー」ボタン→「編集・設定」→「設定」→「地図表示」→「プリセットスケール」で変更できます。

ご注意

十字カーソルが表示されているとき（スクロールモード）は、ジェスチャー操作は使えません。ジェスチャー操作は、現在地ボタンをタッチしてから行ってください。

地図の向きを変えて表示する

地図の表示方向は方位/現在時刻アイコンで確認できます。
（常に北が上）または（進行方向が上）を切り替えるには、次のように操作します。

1　**ツールバーの「縮尺」をタッチします。**

縮尺

2　**（常に北が上）または（進行方向が上）をタッチします。**

3Dマップでは、進行方向が上の表示のみです。

地図の表示方法を切り替える

お買い上げ時に表示されている2Dマップ（地図帳のような平面地図）を3段階の3Dマップ（斜め上から見たような地図）にすることができます。

1 **メニューボタンをタッチして、「編集・設定」をタッチします。**

2 **「設定」をタッチします。**

3 **「地図表示」をタッチします。**

4 **「2D/3Dマップ切替」をタッチします。**

5 「3D」（3種類）のいずれかをタッチします。

「3D」

2Dマップ

3Dマップ

2Dマップに戻すには

「メニュー」ボタン→「編集・設定」→「設定」→「地図表示」→「2D/3Dマップ切替」で「2D」をタッチします。

自車位置を表示する

自車位置は、GPS衛星の電波の受信、および加速度センサーやマップマッチングの働きで測定されています。

1 「現在地」ボタンをタッチします。

自車位置を表示するには、GPS衛星を受信している必要があります。
GPSは、周りに高い建物や木々がない屋外で受信してください。
数分から20分ほどで自車位置を測位します。
GPSの受信状態は、「メニュー」ボタン→「編集・設定」→「設定」→「システム設定」→「測位情報」で、確認できます。

本機の自律航法について

高架下やトンネルなどでGPS衛星からの電波が一時的に途切れても、自車位置を測定して表示することができます。
状況によっては自車位置がずれたり止まったりすることがありますが、GPS衛星が受信できる状態でしばらく走行すると、自車位置が修正されます。
本機能は、本体をクレードルに取り付け、電源を入れた後、GPSを受信した状態でしばらく走行すると、働くようになります。

ご注意

- 次の場合は、改めてしばらく走行してください。
  - 本体をクレードルに載せなおした場合
  - 本体の向きを変更した場合
  - I/⏻ボタンで電源を入/切した場合
- クレードルからはずした状態では、自律航法は働きません。

GPSとは

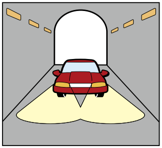
Global Positioning System（全世界測位システムの意味）の略。GPS衛星は位置測定用電波を地上に放射しています。ナビゲーションシステムではこの電波を受信し、自車位置を算出しています。カーナビゲーションシステムのGPS測位は場合によっては数10mから約200mの誤差が生じることがあります。

マップマッチングとは

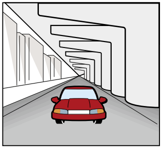
地図上に表示されている自車位置と実際の自車位置のずれを補正する機能です。この機能は地図データにマップマッチングデータのある道路でのみ働きます。

以下のような場合、GPS衛星の電波を安定して受信できず、自車位置が正しく表示されないことがあります。

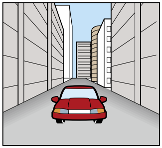
トンネルの中や地下



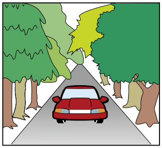
高架の下



高層ビルの間

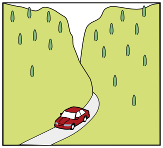


密集した樹木の間

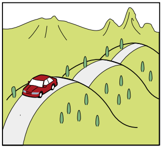


次ページへつづく→

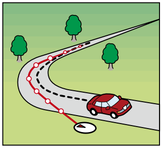
V字の谷



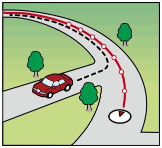
勾配の急な坂道



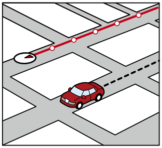
急なカーブ



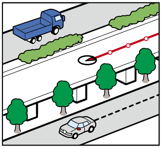
角度の小さなY字路



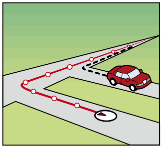
並行している道がある



有料道路と一般道路が
並行している



長い直線が続いた直後に
右折または左折したとき



その他、以下のような場合も自車位置が正しく表示されない場合があります。

- 地図にない道路や駐車場を走行しているとき
- フェリーやレッカー車移動の際
- 電源がOFFされた状態で走行した場合
- 電源を入れてGPSを正しく受信できるまでの間
- クレードルから取り外された状態での使用
- 本体設置場所付近に他の電気製品がある場合
- 熱線防止ガラスなどによりGPSを正しく受信できない場合

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、どこへ行っても帰宅時にはトップメニューの「自宅へ」をタッチするだけで、自宅までのルートガイドを開始できます（34ページ）。

1 **自宅に駐車した状態で、「現在地」ボタンをタッチします。**

2 **「メニュー」ボタンをタッチします。**

メニュー項目が表示されます。

3 **「自宅登録」をタッチします。**

すでに自宅が登録済の場合には、「メニュー」ボタン→「編集・設定」→「設定」→「システム設定」→「自宅登録」から変更できます。

4 **地点設定の方法を選びます。**

ここでは「地図から」をタッチします。

「最寄」、「住所」、「名称」、「ジャンル」、「電話番号」、「マーク」、「履歴」、「お気に入り」、「現在地」をタッチしても地点設定ができます。

次ページへつづく→

5 十字カーソルの中心に自宅の位置が表示されていることを確認し、「決定」をタッチします。

6 確認画面で「はい」をタッチします。

行き先を決めて出発する

行き先（目的地）を設定すれば、本機が適切なルートを自動的に探して案内してくれます。

1 **「メニュー」ボタンをタッチします。**

2 **「行き先」をタッチします。**

「行き先」

3 **「ジャンル」をタッチします。**

ここでは「行き先」をジャンルから探す例で説明します。

「ジャンル」

4 **画面に従い、行きたい施設を探します。**

次ページへつづく→

5 行きたい施設をタッチします。

「あ」「か」「さ」「た」「な」ボタンをタッチすると、その読みではじまる地名リストが表示されます。詳しくは、「取扱説明書 本編」をご覧ください。

6 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチします。

（目的地）マークが付き、ルートを探索します。完了すると、自動的にルートガイドを開始します。ルートが見つからないときは、32ページをご覧ください。

ツールバーの をタッチすると

音量が調整できます。

目的地は次の方法からも選べます。

「最寄」「自宅へ」「お気に入り」または、「行き先」→「住所」、「電話番号」、「名称」、「マーク」、「履歴」

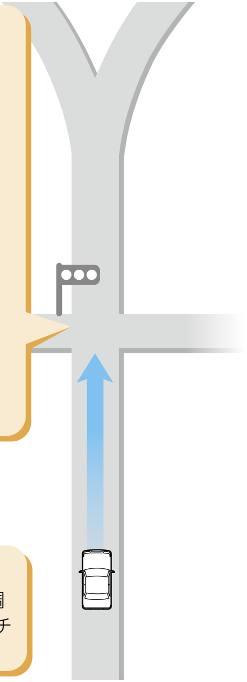
- 個人宅の電話番号は検索できません。
- 電話番号検索データは、タウンページに掲載されている施設情報を元に作成しています。
- 行き先がみつからないときは、“メモリースティック PRO デュオ”を使用することで検索データを増やすことができます。
  - 付属の DVD-ROM から“メモリースティック PRO デュオ”に転送できるデータについては、別冊「取扱説明書 本編」の「その他」→「地図について」→「地図データと検索データについて」をご覧ください。
  - DVD-ROM からパソコンに挿入された“メモリースティック PRO デュオ”への転送方法については、付属の CD-ROM に収録されている「取扱説明書 PC アプリ編」（PDF）をご覧ください。

ルートガイド中の運転サポート機能

ルートに合わせて自動的に表示を切り替え、きめ細やかな案内で運転をサポートします。

右左折する交差点が近づくとお知らせします。

音声案内のほか、曲がる方向と走行車線をわかりやすく表示します。



音声案内の音量を調整できます。

ツールバーの をタッチして音量が調整できます。調整後、音量調整表示は自動的に消えますが、 をタッチして消すこともできます。

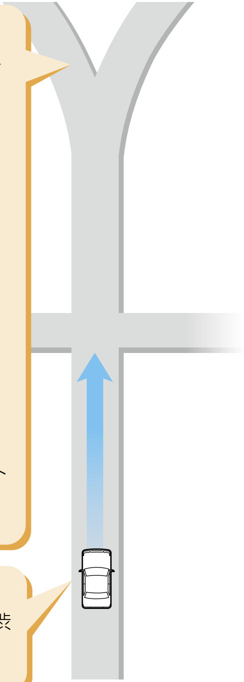
次ページへつづく→

万一、道を間違えても大丈夫です。

本機が自動的に適切なルートをすばやく探し直して、ルートガイドを続けます。

元のルート

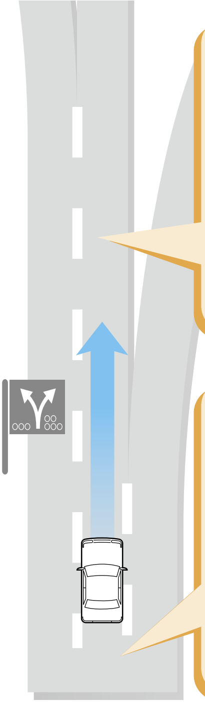
探し直したルート



道路状況がリアルタイムでわかります。

VICSビーコンユニットNVA-VB6（別売り）を接続すると、渋滞などの道路状況がリアルタイムで表示されます。
また、自動的に渋滞を避けるルートを案内します。

高速道路上ではさらに‥



進行方向の高速道路出口、**SA/PA** などの名称、そこに到着するまでのおおよその距離と所要時間を表示します。

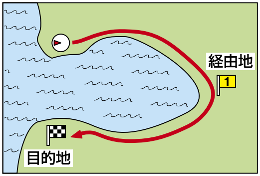
高速道路の出口と分岐点を拡大表示で案内します。

ナビゲーション

ルートが見つからないときは

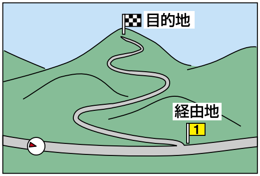
出発地と目的地の位置関係や、目的地付近での交通規制情報などによって、ルート探索できないことがあります。以下の場合、目的地を少しずらしたり、経由地を追加したりすることで、正しくルート探索できることがあります。ルート変更について詳しくは、別冊「取扱説明書 本編」の「編集・設定メニュー」→「ルート編集」をご覧ください。

出発地と目的地を結ぶルートが、大きく弓なりになるとき



出発地と目的地の間に、海や険しい山があると、ルートを発見できないことがあります。弓なりなルートの中央付近を経由地（1）に追加してみてください。

目的地が国道などの幹線道路から大きく離れているとき



山の中のスキー場などを目的地に設定すると、ルートを発見できないことがあります。目的地近くの幹線道路に、経由地（1）を追加してみてください。

目的地が中央分離帯のある道路上やその近くにあるとき

Uターン禁止の道路上に目的地を設定すると、道路規制の内容によって、ルートを発見できないことがあります。反対車線側に、目的地（ ）を設定してみてください。

目的地が観光地や駅周辺など、交通規制の厳しい場所にあるとき

交通規制の内容によって、ルート探索に失敗することがあります。少し手前の交差点などに、目的地（ ）または経由地（ 1 ）を設定してみてください。

ご注意

次のような場合には、正しいルートが表示されないことがあるため、実際の交通規則に従って走行してください。

- 次のような場所に出発地／（経由地）／目的地を設定した場合
  - 山岳部など、近くに道路のない地域
  - 商店街の中など、細い道路しかない地域
  - 道路データ上、道がつながっていない場合（離島など）
  - ゴルフ場など、広い場所
  - 近くに交通規制が存在する場合
- 探索されたルートの色がピンク色の場合
  （通常のルート探索では対象にならない細い道はピンク色で表示されます。）

自宅に帰る

自宅を登録しておけば（25ページ）、どこにいても「自宅へ」をタッチするだけで、自宅までのルートが案内されます。

1 「メニュー」ボタンをタッチします。

2 「自宅へ」をタッチします。

自宅までのルートを探索します。完了すると、自動的にルートガイドを開始します。

地図画面を「へ」の字になぞっても、自宅までのルートガイドを開始できます（ジェスチャー操作：裏表紙）。

ご注意

十字カーソルが表示されているとき（スクロールモード）は、ジェスチャー操作は使えません。ジェスチャー操作は、現在地ボタンをタッチしてから行ってください。

困ったときは

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、サービス窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れにしたがってチェックしてみてください。メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

- **手順1：本書で調べる**
  この「困ったときは」をチェックし、該当する項目を調べる。また、別冊の「取付接続編」、「取扱説明書 本編」にも、様々な情報があります。該当する項目を調べてください。
- **手順2：nav-u関連のホームページで調べる**
  http://www.sony.jp/products/me/で調べる。
  最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。
- **手順3：それでもトラブルが解決しないときは**
  お客様ご相談センター（裏表紙）またはお買い上げ店にご相談ください。

症状	原因および処置
電源が入らない。	•「取付接続編」（別冊）を参考に本機を正しく取り付けてください。 • ACアダプターと電源コードを正しく接続してください。 • 内蔵バッテリーが空になった後には、本機側面のリセットボタンを押してください。
バッテリーの充電ができない。	• ACアダプターで使用しているときは、電源コンセントから電源コードを外して、再接続してください。 • 内蔵リチウムイオンバッテリーの動作温度は5～45℃です。直射日光などが原因で本機内部の温度が上昇すると充電できなくなりますが、故障ではありません。

次ページへつづく→

症状	原因および処置
GPSが受信できない。	• 障害物の影響でGPS衛星の電波が受信できない。見晴らしの良い場所に移動してください。 • GPSの受信状態が弱い。メニューボタン→「編集・設定」→「設定」→「システム設定」→「測位情報」でGPSの受信状態を確認してください。 • 車体の一部がGPSアンテナの受信を妨げている。取り付け位置を変更してください。 • 熱線防止ガラスの一部には、GPSを受信できないものがあります。
自車位置がずれる。	• GPS衛星からの電波の誤差が大きい。誤差は最大で数百メートル生じます。 • GPS衛星からの電波が受信できない。（22ページ）
音声ガイドが聞こえない。	• 音量が小さすぎる。画面上の音量アイコン（ ）をタッチして音量を調整してください。内蔵バッテリーで操作している場合、音量はわずかに小さくなります。 • ガイド音声の設定が「OFF」になっている。メニューボタン→「編集・設定」→「設定」→「システム設定」→「音量」→「ガイド音声」で設定してください。
画面が正常に表示されない。	• 高温時は画面が暗くなったり、ぼやけたりします。低温時は表示が遅れることがあります。これらの症状は、本機が動作温度範囲に戻ると正常に戻ります。 • オートディマーセンサーを手などでふさいでいないか確認してください。

症状	原因および処置
画面が突然消える。	• 省電力モードが「ON」の状態で一定時間操作しなかった。画面をタッチすると通常の明るさに戻ります。メニューボタン→「編集・設定」→「設定」→「システム設定」→「省電力モード」を確認してください。
メニュー操作が行えず、走行中を示すメッセージが表示される。	• 安全のため走行中は以下の操作ができません。 •メニュー •ツールバー →「地点」 - 最寄検索 - マーク登録の「名称」、「よみ」、「グループ」、「マークアイコン」、「サウンド設定」 - マーク編集 •ツールバー →「ガイド」 - ルート確認 • 操作は安全な場所に停車して行ってください。
何も操作していないのに、デモンストレーションが始まる。	• オートデモスタートが「ON」になっている。メニューボタン→「編集・設定」→「設定」→「システム設定」→「デモンストレーション」→「オートデモスタート」で「OFF」にしてください。

主な仕様

本体

使用温度範囲	5℃～45℃
電源	DC 5V（付属のACアダプター接続時）
消費電流	最大1.5 A
接続端子	クレードル端子 DC IN 5-5.2V端子 USB端子
メモリーカードスロット	メモリースティックデュオスロット（“メモリースティックPROデュオ”対応）
スピーカー	20×40mmだ円型
外形寸法	約134.4×79.1mm、44.0mm（幅×高さ×奥行き）（突起部含まず）
重量	約380g

モニター

種類	液晶カラーモニター
表示方式	透過型TN液晶パネル
駆動方式	a-si　TFTアクティブマトリクス方式
画面の大きさ	95.0×53.9、109.2mm（幅×高さ、対角線径）

クレードル

使用温度範囲	5℃～45℃
電源	DC12Vカーバッテリー（マイナスアース）
消費電流	最大約600mA
接続端子	本体端子 DC IN 12V端子

内蔵バッテリー充電時間/使用時間

充電時間	電源を入れた状態で5.0時間 スタンバイ状態で2.5時間
使用時間	最大4.0時間（使用状況による）

別売りアクセサリー

VICSビーコンユニット　NVA-VB6

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

- 包装用緩衝材に段ボールを使用しています。
- 外箱の印刷にVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

使用上のご注意とお手入れ

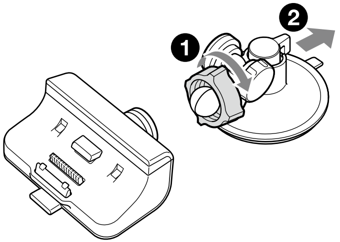
別冊「取扱説明書 本編」の「重要なご注意」もあわせてお読みください。

本機の取り扱い

吸盤について

吸盤の表面が汚れていると、取り付け強度が弱くなります。吸盤の表面は、取り付け前に、以下の手順できれいにしてください。

1 吸盤をクレードルから取り外します。



2 吸盤を水洗いします。

3 吸盤を完全に乾かします。

ご注意

- 吸盤をクレードルに取り付けたまま絶対に洗わないでください。クレードルが故障する恐れがあります。
- 洗剤などは使わず、必ず水で洗ってください。
- 取り付け前には、吸盤が乾燥していることを確認してください。

液晶画面の輝点・滅点について

画面の同じ場所に、青い点や赤い点などが現れることがあります。このような現象を輝点といいます。液晶画面の性質上発生するものです。本機の画面は非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。いずれの場合も使用上、支障はありません。

結露について

結露とは本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときなどに、本機の表面や内部に水滴が付くことで、そのまま使うと故障の原因となります。このような場合はスタンバイ状態にしてしばらく放置しておくと結露が取り除かれ、正常に戻ります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合は、お買い上げ店やサービス窓口へご相談ください。

無線機や携帯電話、レーダー探知機などについて

無線機や携帯電話、レーダー探知機など強い電波を出したり、受信する機器を本機の近くで使うと以下のようなことが起きることがあります。これらの機器は本機から遠ざけてご使用ください。

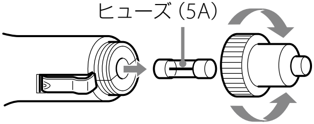
- 画像が乱れることがあります。
- 自車位置を正しく表示できないことがあります。
- 本機が正しく動作しないことがあります。
- 無線機や携帯電話、レーダー探知機などが正しく動作しないことがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

ヒューズの交換について

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。



“メモリースティックデュオ” について

“メモリースティック” とは？

“メモリースティック” は、小さくて大容量の IC 記録メディアです。“メモリースティック” 対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの 1 つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

本機で対応している “メモリースティック”

- 本機では以下の “メモリースティック” が使用できます。
  - “メモリースティックデュオ”（マジックゲート非対応）

次ページへつづく→

その他

- "マジックゲートメモリースティック デュオ"
- "メモリースティックPROデュオ"

- 本機では8GB以下の"メモリースティックデュオ"が使用可能です。ただし、8GB以下のすべての"メモリースティックデュオ"の使用を保証するものではありません。
- "マジックゲート メモリースティックデュオ"および"メモリースティックPROデュオ"の場合、マジックゲートによってコピーが禁止されているデータの書き込み/読み取りはできません。

"メモリースティックデュオ"使用上のご注意

- 本機は高速データ転送には対応していません。
- 標準サイズの"メモリースティック"は使用できません。
- "メモリースティックデュオ"は、正しい挿入方向をご確認の上ご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- "メモリースティックデュオ"は、小さな子供の手が届く範囲に置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。
- 読み込み中や書き込み中に"メモリースティックデュオ"を抜かないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中や書き込み中に"メモリースティックデュオ"を抜いたり、電源を切ったりした場合。
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合。
- 大切なデータは必ずバックアップを取っておくことをおすすめします。
- 著作権の対象になっているデータの記録された"メモリースティックPROデュオ"は著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

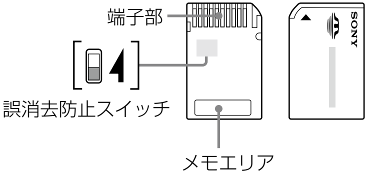
フォーマット(初期化)についてのご注意

- すでにデータが書き込まれている"メモリースティックPROデュオ"をフォーマットすると、そのデータは消去されてしまいます。**誤って大切なデータを消去することがないようにご注意ください。**
- "メモリースティックデュオ"は、標準フォーマットとして専用のFATフォーマットで出荷されています。

- フォーマット（初期化）が必要な場合は必ず、以下の手順でフォーマットを行ってください。
  「メニュー」ボタン→「編集・設定」→「設定」→「システム設定」→「M.S.フォーマット」
- Windowsエクスプローラで初期化された“メモリースティック”を入れると、FORMAT ERRORになり、本機では使えません。

“メモリースティックデュオ”の取り扱いについて

- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所での使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所



- 誤消去防止スイッチのない“メモリースティックデュオ”を使用するときは、大切なデータを誤って編集/消去しないようにご注意ください。
- 誤消去防止スイッチ を「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。
- 誤消去防止スイッチは、先の細いもので切り換えてください。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。

お手入れと廃棄について

- 本機のお手入れは必ず電源を切ってから行ってください。お手入れは以下の点に注意して行ってください。
  - 必ず本機の電源を切り、電源プラグまたはシガー電源コードを抜いてから行ってください。

次ページへつづく→

- 画面の汚れを拭きとるときは、市販のクリーニングクロスで軽く拭きとってください。
- nav-u本体やクレードルは、乾いた柔らかい布、または水をつけて硬く絞った布で軽く拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 液体状の洗剤などは使わないでください。nav-u本体の内部に入って故障の原因となります。
- 化学ぞうきんを使うと、色落ちや変色することがあります。
- 殺虫剤やヘアスプレーのような揮発性のものをかけたり、ゴム、ビニール製品、防虫剤などに長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

• 廃棄するときは以下の点に注意して行ってください。
  - 一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。
  - 本機には充電式リチウムイオン電池が使用されています。次に記載の「廃棄時のお願い」をご参照の上、電池のリサイクルにご協力ください。

廃棄時のお願い

電池廃棄時のお願い

Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池はリサイクル協力店へお持ち下さい。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRCホームページhttp://www.jbrc.net/hp/contents/index.htmlを参照してください。

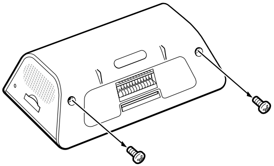
本機を廃棄するときは、下記の手順でリチウムイオン電池を取り出してください。リチウムイオン電池は、リサイクルできます。

ご注意

廃棄時以外は本機を分解しないでください。

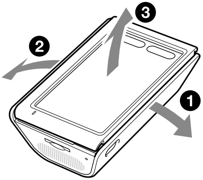
準備：本体の電源を切ります。

1　本体底部のネジ2本を、ドライバーを使って外します。



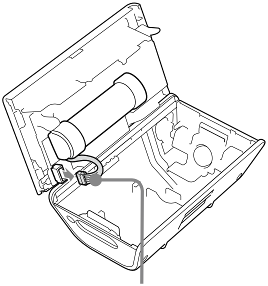
2 リアカバーを外します。

① 本体の上部を下図のように外します。

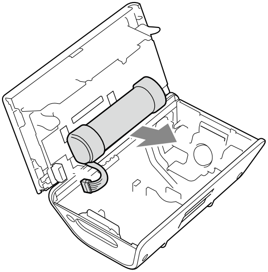


② 本体の下部を同様に外します。

3 バッテリー端子からコードを外します。



4 電池を取り出します。



リチウムイオン電池についてのご注意

- 取り出した電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- 取り外した電池の、その他の注意事項については、「取扱説明書 安全のために」（別紙）をご覧ください。
- バッテリー端子を外す場合、金属製のピンセットなどを使用しないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より１年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある「ソニーサービス窓口」にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではナビゲーションシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後６年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

地図画面各部のなまえ

1 方位/現在時刻
2 経由地、目的地方向
3 目的地への到着予想時刻
4 目的地までの距離
5 ガイド情報と距離
6 自車位置
7 ツールバー
8 縮尺
9 表示切替
10 地点
11 ガイド
12 音量
13 VICS 情報
14 車線案内

ジェスチャー操作一覧

画面に円や直線を描くようにタッチすると（ジェスチャー操作）、よく使う機能を簡単に使えます。

機能	ジェスチャー操作	
プリセットスケールに変更する		地図画面で右回り／左回りになぞる。
自宅までのルートを探索する（自宅が登録されている場合のみ）		地図画面で「へ」の字になぞる。
までのルートを探索する（お気に入り1が登録されている場合のみ）		地図画面で「L」の字になぞる。
までのルートを探索する（お気に入り2が登録されている場合のみ）		地図画面で逆「L」の字になぞる。

十字カーソルが表示されているとき（スクロールモード）は、ジェスチャー操作は使えません。ジェスチャー操作は、現在地ボタンをタッチしてから行ってください。

困ったときは

nav-u関連のホームページ（下記URL）でお調べください。

http://www.sony.jp/products/me/

「よくあるご質問（Q&A）」は、上記URLの「サポート」からご確認いただけます。

ソニー株式会社
〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
- ナビダイヤル………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
- Fax……………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

Printed in Thailand